

除害施設設置基準を超える汚水を排出する施設について、それぞれ記載する。

1 汚水を排出する施設の構造

イ 汚水を排出する施設の型式、構造、主要寸法及び能力

名称	型式	構造	主要寸法	能力	数量	備考
装置	高速処理型	ステンレス製 二槽構造	90×180×85(cm)	30kg / 時	3	1 図の A B C
1 階 厨房			12×18(m)	300食 / 日	1	
2 階 厨房			12×6(m)	60食 / 日	1	
流し台	深型ワイド	ステンレス製	120×60×45(cm)		2	1 図の D E

ロ 主要機械又は主要装置の配置

添付第 1 図のとおり

ハ 汚水を排出する施設に係る工事の着工及び完成予定年月日並びに施設の使用開始の予定年月日

工事着工予定年月日 令和 年 5 月 2 0 日

工事完成予定年月日 令和 年 7 月 3 1 日

使用開始予定年月日 令和 年 8 月 1 日

ニ その他参考事項

2 汚水を排出する施設の使用の方法

イ 汚水を排出する施設の設置場所 (添付第 1 図のとおり)(全体図)

ロ 汚水を排出する施設を含む操業の系統 (添付第 2 図のとおり)

ここに で示してもよい。

(例)

原料受入 洗浄 処理 包装 出荷

など

ハ 汚水を排出する施設の使用時間間隔及び 1 日当たりの使用時間並びにその使用の季節的変動の概要

名称	区分	使用時間間隔	1日当たりの使用時間	季節的変動の概要	備考
装置		8 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0	8 時間	なし	
1 階 厨 房		6 : 0 0 ~ 1 4 : 0 0	1 0 時間	なし	
2 階 厨 房		8 : 0 0 ~ 1 4 : 0 0	最大 2 時間程度	夏季の繁忙時のみ	
流し台		9 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0	6 時間	なし	

除害施設設置基準を超える汚水を排出する施設について、それぞれ記載する。

除害施設設置基準を超える汚水を排出する施設について、それぞれ記載する。

二 汚水を排出する施設において使用する原材料の種類、使用方法及び1日当たり

施設の名称	使用原材料の種類	使用方法	1日当たりの使用量	備考
装置	処理液・仕上げ液	浸漬及び洗浄(自動)	各 20リットル	
1階厨房	食品一般	調理	200食分	
2階厨房	"	"	50食分	
流し台	中性洗剤	材料・使用器具の洗浄	5リットル	

ホ 汚水を排出する施設から排出される汚水の量及び水質

水量・水質 施設名	汚水量 (m ³ /日)		水 質																
			pH		Zn		Pb		BOD		SS		n-ヘキ						
	日間平均	最大	日間平均	最大	日間平均	最大	日間平均	最大	日間平均	最大	日間平均	最大	日間平均	最大	日間平均	最大	日間平均	最大	
装置	0.02	0.03	12	12	1.0	8.0	0.01	0.15											
1階厨房	10	15	7	7					300	500	300	500	10	15					
2階厨房	2	10	7	7					100	300	100	300	5	10					
流し台	5	7	7	7					10	15	10	15	0	3					

除害施設設置基準を超える汚水を排出する施設について、それぞれ記載する。

ハ その他参考事項

3 除害施設について

イ 除害施設の設置場所 (添付第 1 図のとおり)

ロ 除害施設に係る工事の着工及び完成予定年月日並びに使用開始の予定年月日

工事着工予定年月日 令和 年 5 月 2 0 日

工事完成予定年月日 令和 年 7 月 3 1 日

使用開始予定年月日 令和 年 8 月 1 日

ハ 除害施設の種類、型式、構造、主要寸法及び能力並びに汚水の処理の方式

種類	型式	構造	主要寸法	能力 (m ³ / 日)	処理の方式	備考
廃液回収施設	全量回収 型用	ポリタンク	900×900×500 (mm)		全量回収・貯蔵	1 図の F
沈殿槽	3 槽式	コンクリート 樹脂塗装	900×1200×900 (mm)	5 0	沈殿・分離	1 図の G

ニ 汚水の処理の系統 (添付第 2 図のとおり)

配管図などで示してください。

ホ 汚水の集水及び除害施設までの導入の方法 (添付第 3 図のとおり)

ヘ 除害施設の使用時間間隔及び 1 日当たりの使用時間並びにその使用の季節的変動の概要

処理施設の名称	使用時間間隔	1日当たりの使用時間	季節的変動の概要	備考
廃液回収施設	8 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0	8 時間	なし	
沈殿槽	終日	終日		

ト 除害施設において、中和、凝集、酸化その他の反応の用に供する消耗資材の 1 日当たりの用途別使用量

処理施設の名称	消耗資材名	用途	1日当たりの使用量	備考
廃液回収施設	なし			
沈殿槽	なし			

チ 除害施設による処理前及び処理後の汚水の量及び水質

施設名	汚水量 (m ³ / 日)		水 質																	
			処 理 前										処 理 後							
	処 理 前		処 理 後		p H		B O D		S S		p H		B O D		S S					
	平均	最大	平均	最大	平均	最大	平均	最大	平均	最大	平均	最大	平均	最大	平均	最大	平均	最大	平均	最大
廃液 回収施設			回 収																	
沈殿槽	17	32	17	32	7	7	300	500	300	500			7	7	15	40	60	80		

リ 汚水の処理によって生ずる残さの種類及び生成量並びに処理の方法

残さの種類	生成量 (t / 月) (含水率 %)	処 理 の 方 法 の 概 要	備 考
廃液	0.4	業者回収 (企画株)	
汚泥	2	業者回収 (環境整備株)	

ヌ 公共下水道に排除する方法 (排水口の位置及び数並びに排出先を含む) (添付第 3 図のとおり)

ル その他参考事項

下水道への排水口ごと
にご記入ください。

4 公共下水道に排除する下水の量及び水質

イ 下水の量及び水質

排水口別	排水量 (m ³ /日)		水 質										
	日間 平均	最大	pH		BOD		SS						
			日間 平均	最大									
事務所系	10	15	7										
工場系	50	70	7		15	40	60	80					

ロ その他参考事項

従業員の便所や給湯室などの
分です。だいたい3～4人で
1 m³/日程度です。

用水及び排

蒸発分、原料となる分などを除くと、用水と排水の合
計は同じ値になります。この場合は、用水80のうち、
10が蒸発、10が原料です。つまり排水は60です。
水道の検針伝票(2か月に1度)を参考にしてください。
60日で割れば1日分の平均用水量になります。

イ 用水及び排水の系統 (添付第 3 図のとおり)

ロ 用途別用水量(m³/日)

ボイラー水	原料用水	洗浄用水	温調用水	冷却用水	生活用水	合計
10	10	50			10	80

参 考 資 料

資 本 額	円	従 業 員 数	(その事業場の勤務者) 人
主 要 製 品	(その事業場の製品)	操 業 時 間	(その事業場の操業時間帯) : ~ :
総務省の日本標準産業分類による。不明の場合にはご相談ください。	業 種 名	敷 地 面 積	(その事業場について) m ²
		建 物 面 積	(その事業場について) m ²
付 近 見 取 図 (案内図)	別添のとおり	電 話 番 号	水質管理責任者 設備の維持管理担当者 等 を呼び出せる電話番号
付近の地図をお願いします。 市街図のコピーでも結構です。	水質管理責任者 設備の維持管理担当者 等 の所属部署名	担 当 者	水質管理責任者 設備の維持管理担当者 等 のお名前

届 出 に 係 る 履 歴

施設番号	届出の根拠	受理年月日	届出の概要
	第 条	年 月	
	第 条		
	第 条	年 月 日	
	第 条	年 月 日	
	第 条	年 月 日	
	第 条	年 月 日	
	第 条	年 月 日	
	第 条	年 月 日	以下別紙

新規の届出の場合には、履歴の記載は不要です。

主要機械の配置及び用・排水経路

(図 面)

この用紙を使用する必要はありません。

既存の図面やカタログがあれば、そのコピーで結構です。

図の枚数や番号に制限はありません。

必要な図面を添付し、「第 図」などとしてお示してください。

配置図には、届出対象施設以外の主要機器もご記入ください。

汚水を排出する施設や除害施設は、着色などによりわかりやすくお示してください。

用水と排水は、色分けしてお示してください。

注意

- 1 図面は道路を含めた事業所全体の概略図とすること。
- 2 特定施設と処理施設は()等で明示すること。
- 3 用水と排水経路は色又は実線と点線により区別すること。